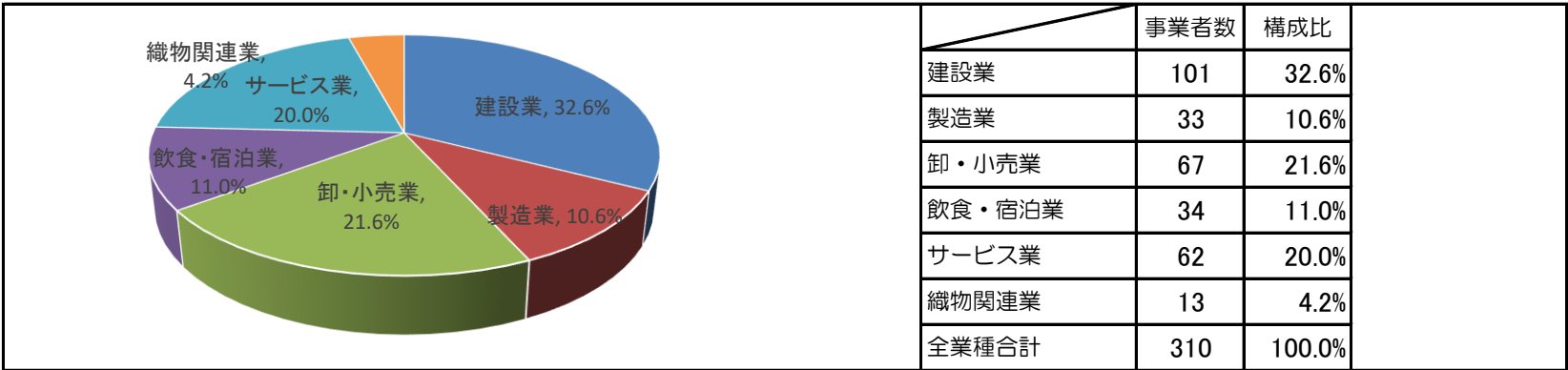


十日町市地域 企業景況調査 第4四半期報告書（R7.1.1～R7.3.31）会議所地区

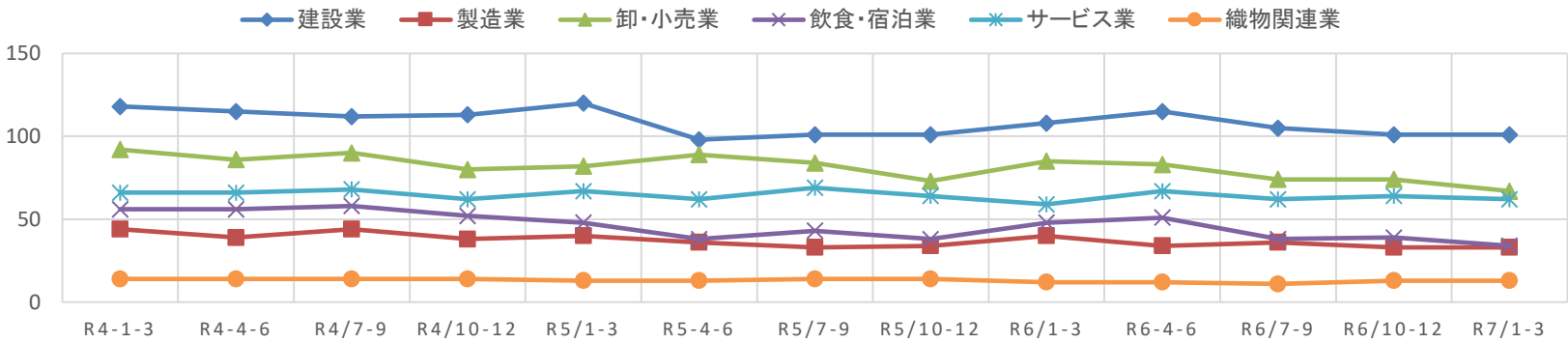
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

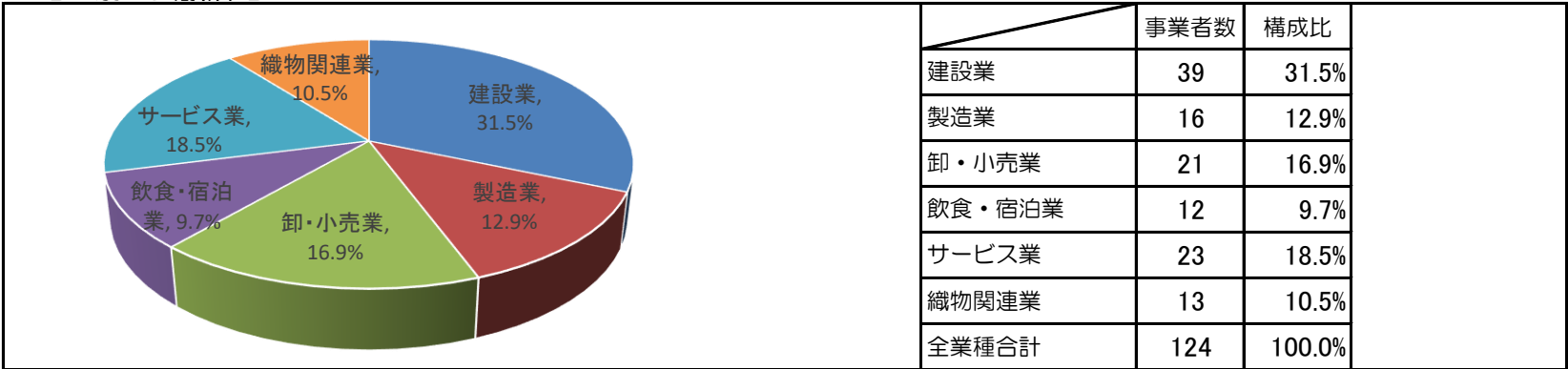


業種別調査事業所数の推移（市内全体）

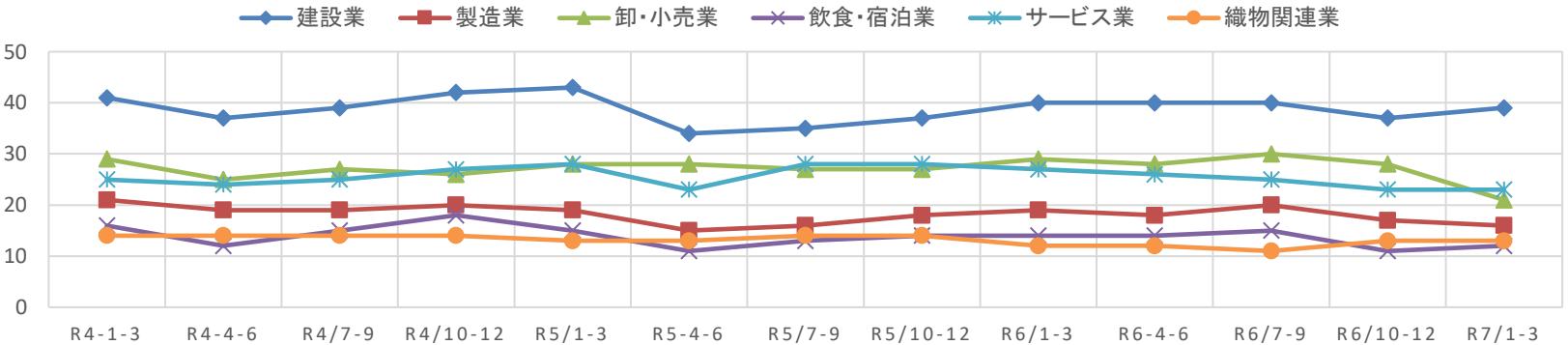


<コメント>今回の調査は、十日町市内310事業所から回答を得られた。前回調査よりも14事業者減少している。業種別に見ると卸・小売業と飲食・宿泊業、サービス業の回答数が減少した。また、建設業の回答割合が最も高くなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移（地区）



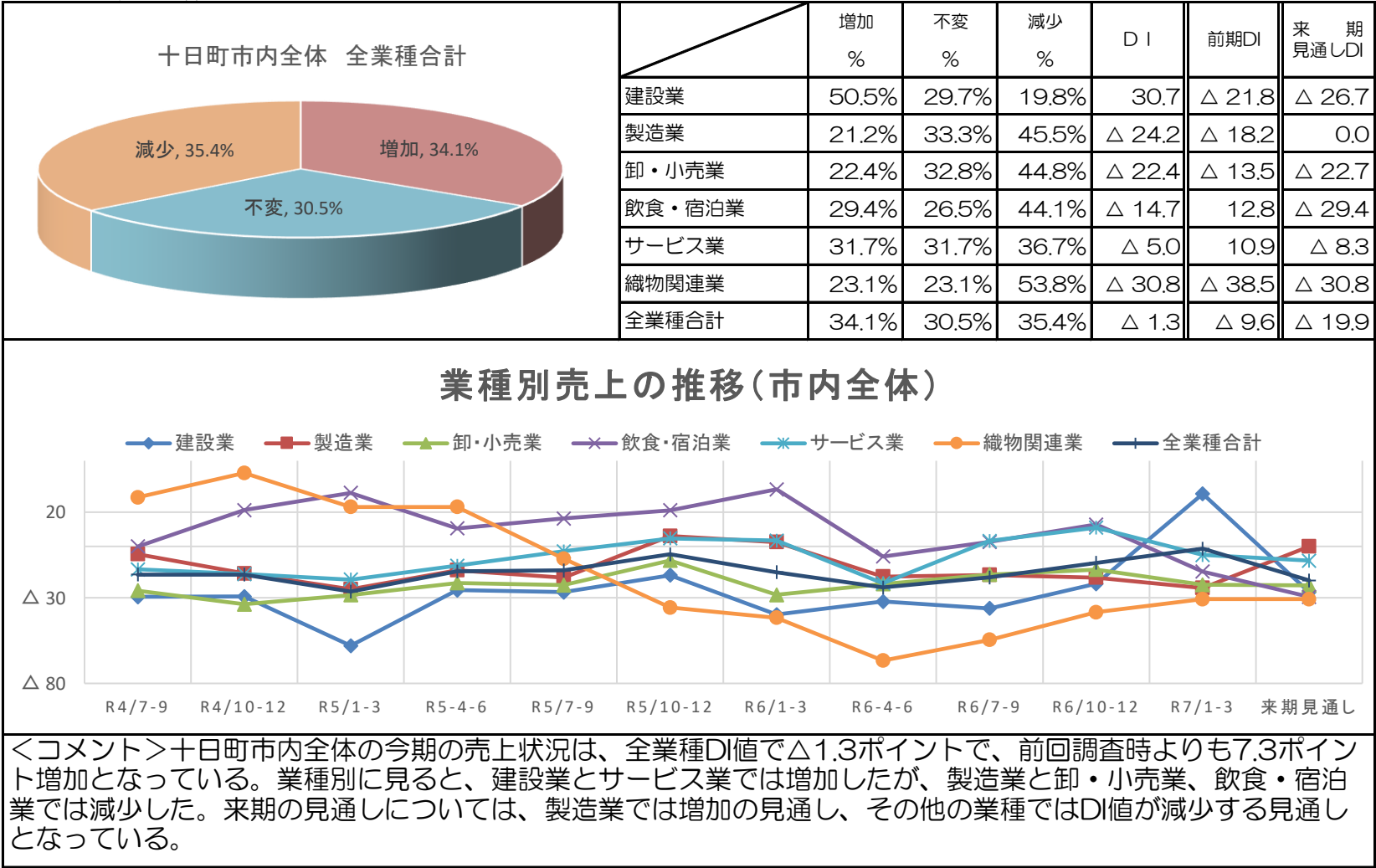
<コメント>会議所地区の今回の調査回答状況は、依頼先186事業所のうち、124事業所からの回答があり、回答率は66.7%と前回に比べ2.3%減少した。（前回回答事業者129事業所、回答率69.0%）

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

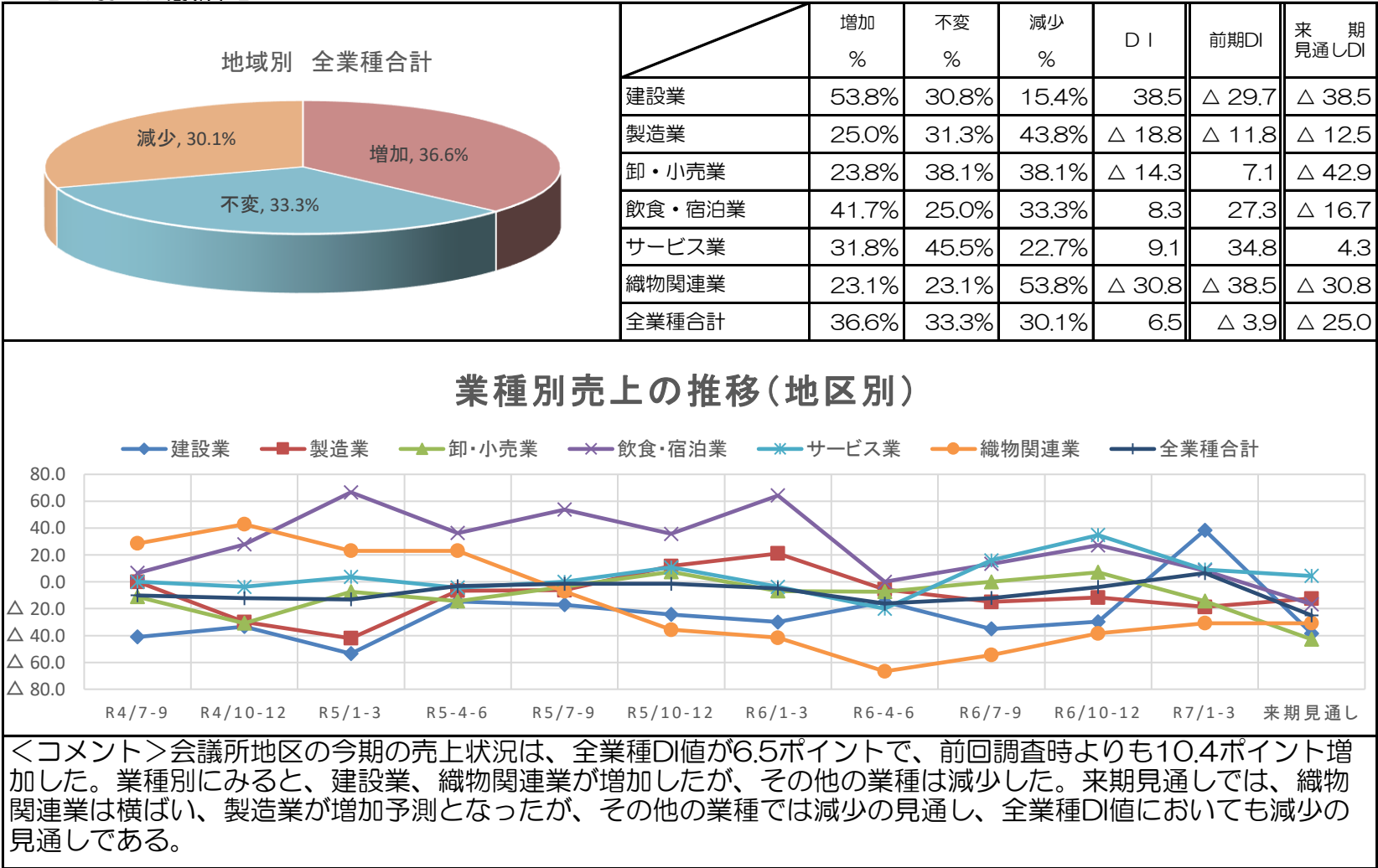
1. 売上について

- ・1月～3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

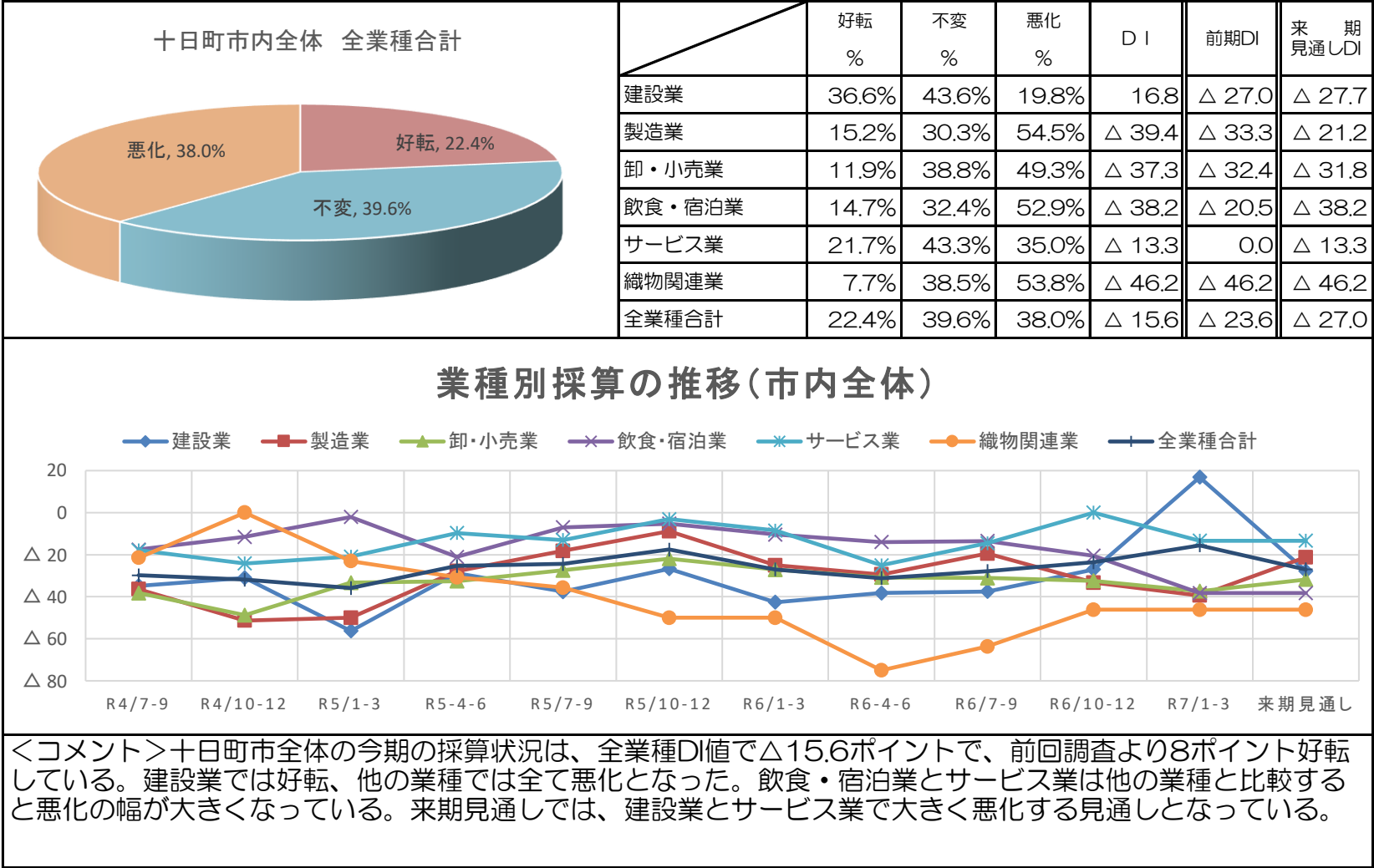


<地区別：会議所地区>

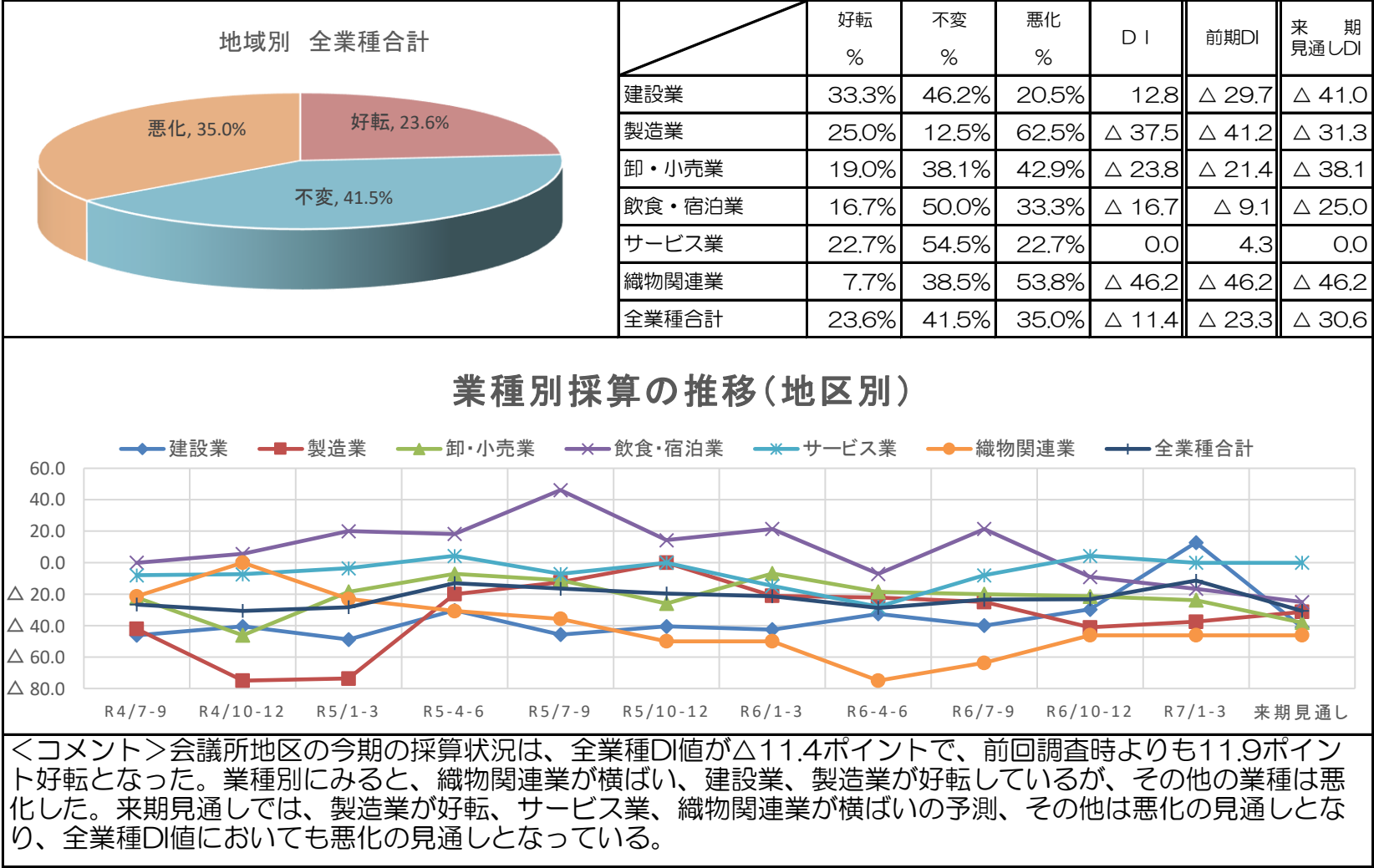


2. 採算について
- ・ 1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

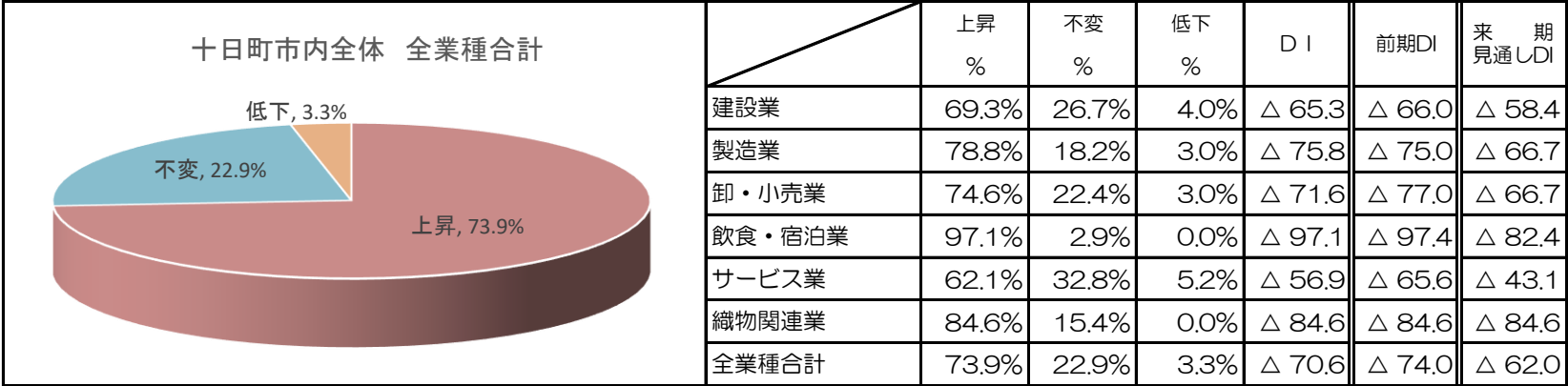


<地区別：会議所地区>

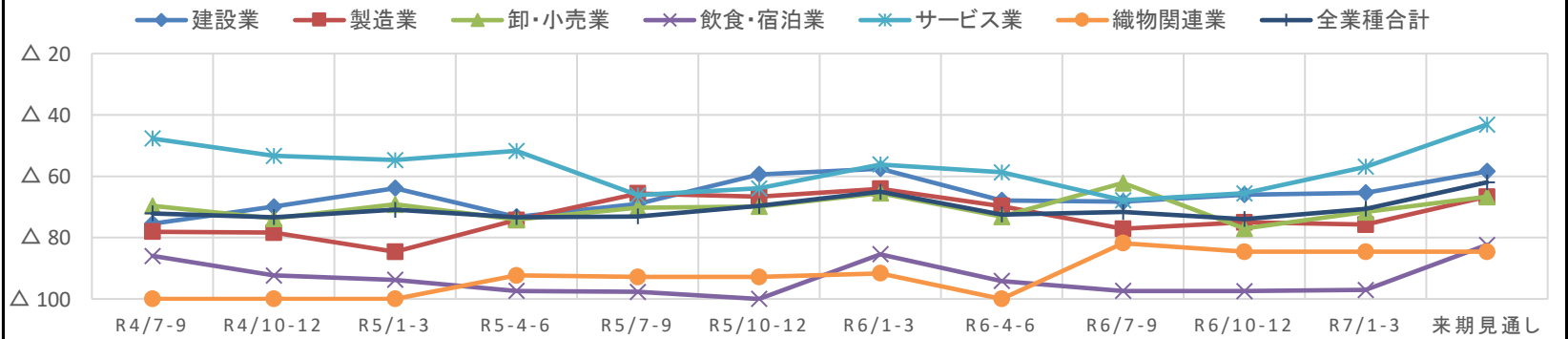


3. 仕入単価について
- ・ 1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

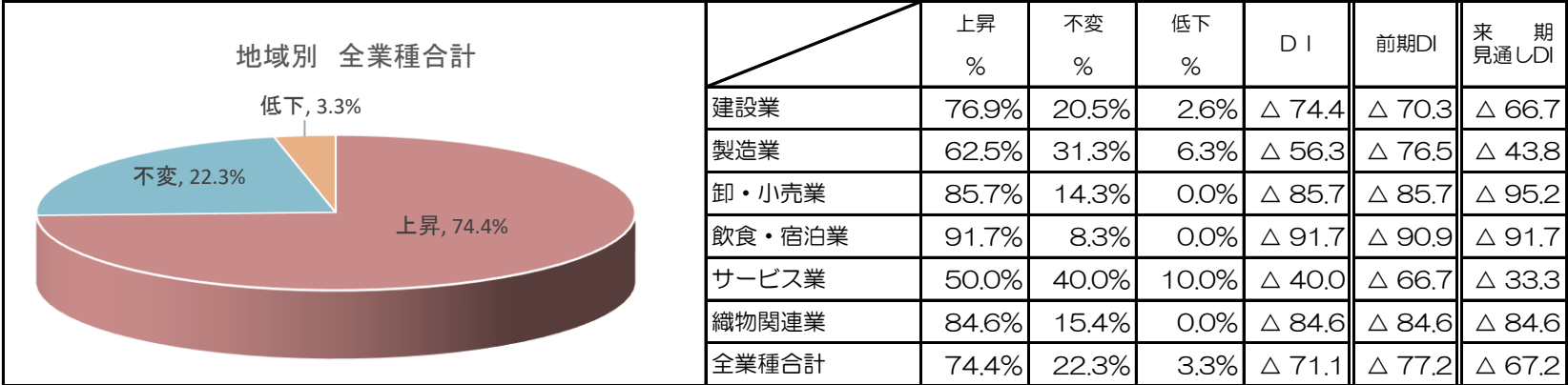


業種別仕入単価の推移（市内全体）

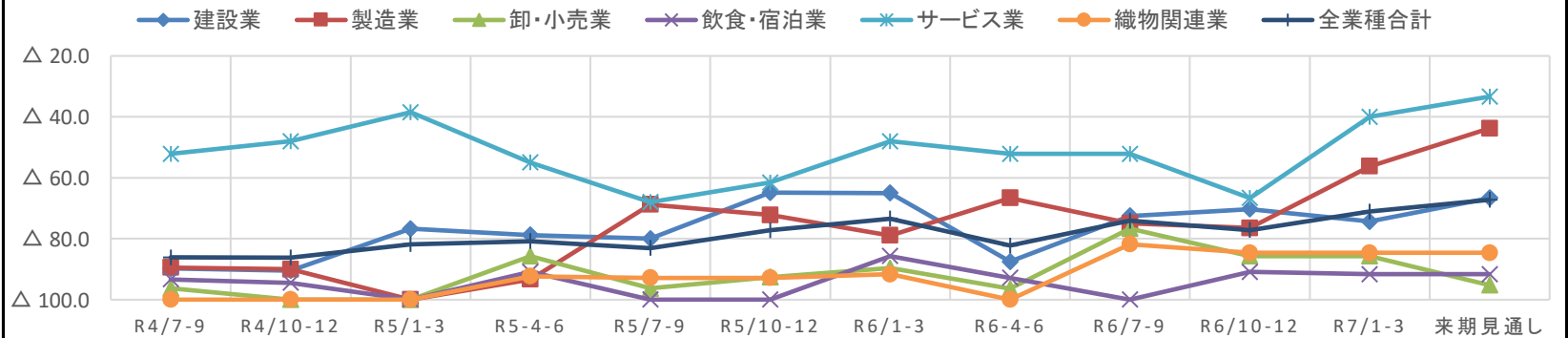


＜コメント＞十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△70.6ポイントで、前回調査時よりも3.4ポイント上昇し、仕入単価の低下が見受けられる。製造業ではDI値が低下し、仕入単価上昇となっているが、その他の業種では仕入単価が減少となっている。来期見通しについては、全業種でDI値が上昇し、仕入単価がさらに低下する予測となっている。

＜地区別：会議所地区＞



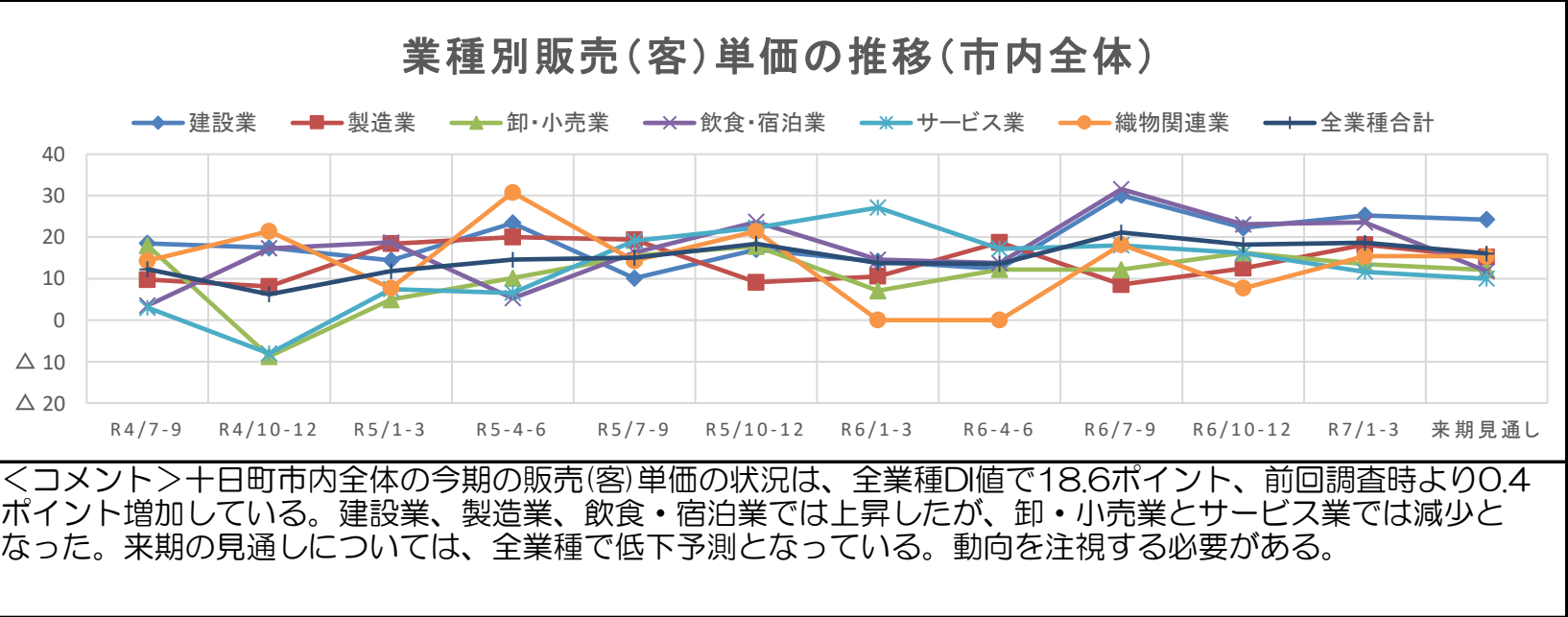
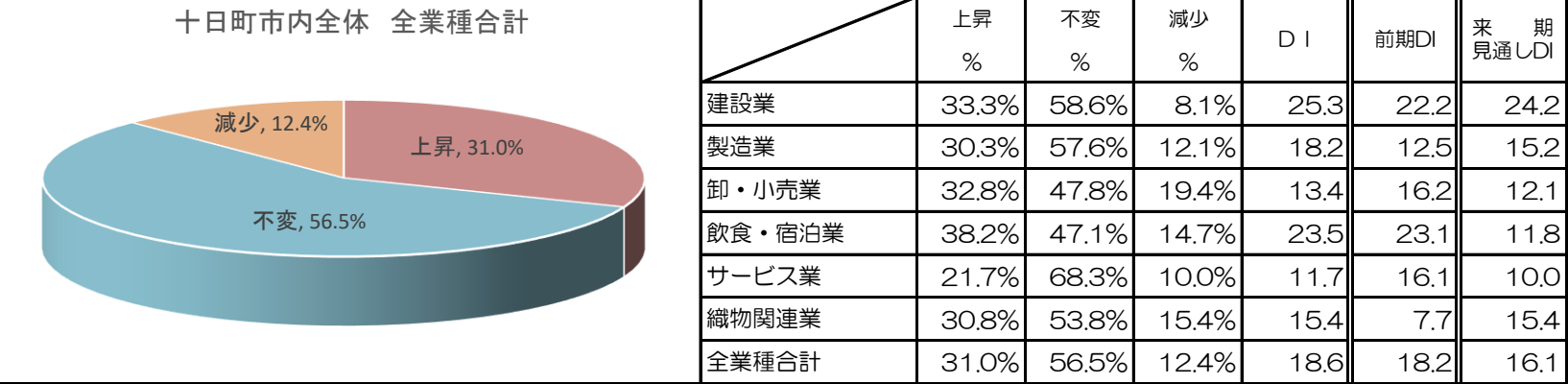
業種別仕入単価の推移（地区別）



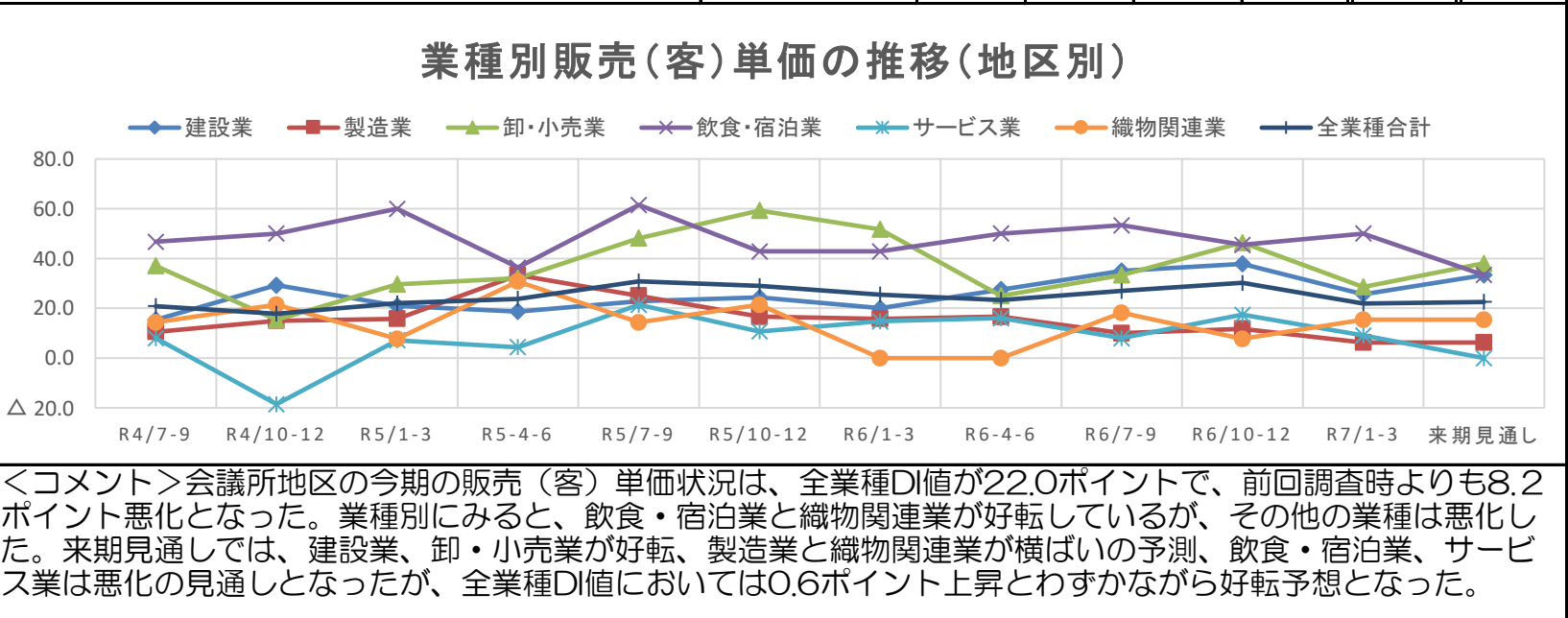
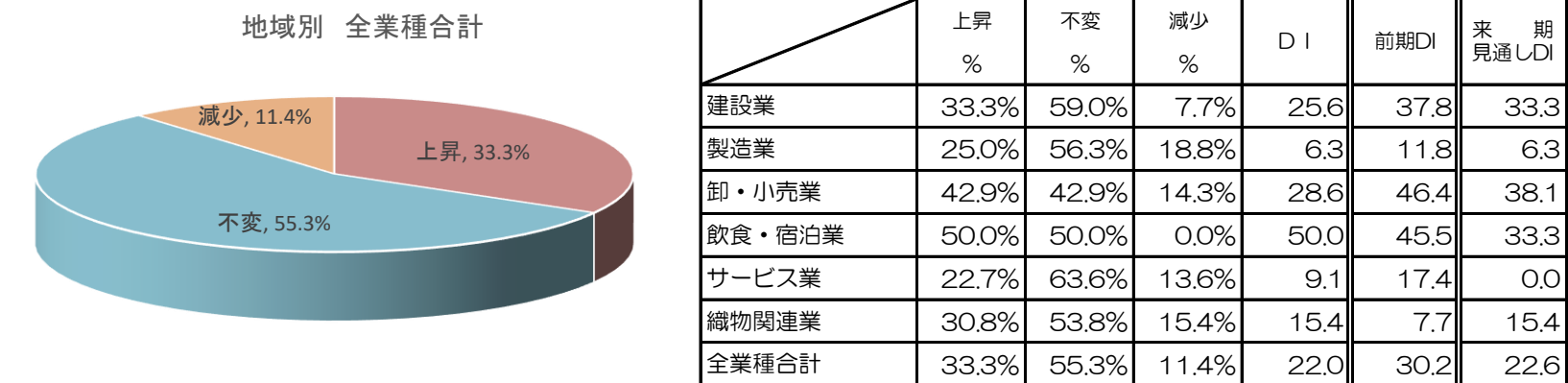
＜コメント＞会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△71.1ポイントで、前回調査時よりも6.1ポイント仕入単価低下となった。業種別にみると、卸・小売業と織物関連業が横ばい、建設業、飲食・宿泊業が仕入単価上昇としているが、サービス業、製造業は仕入単価が大きく低下した。来期見通しでは、飲食・宿泊業と織物関連業が横ばい、卸・小売業は仕入単価上昇の見通しとなったが、その他の業種では低下し、全業種DI値においては低下の予測となっている。

4. 販売（客）単価について
- ・ 1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



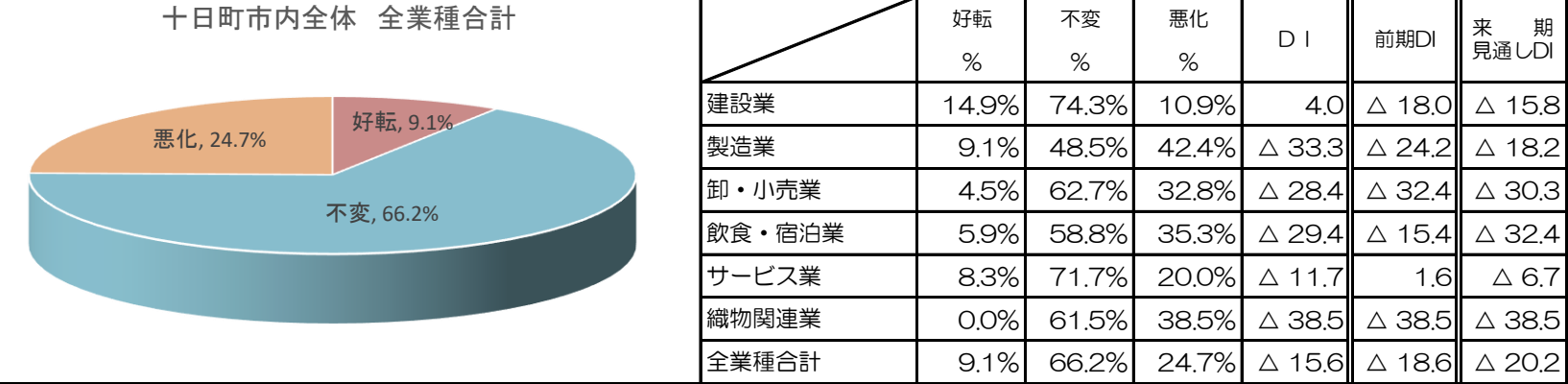
<地区別：会議所地区>



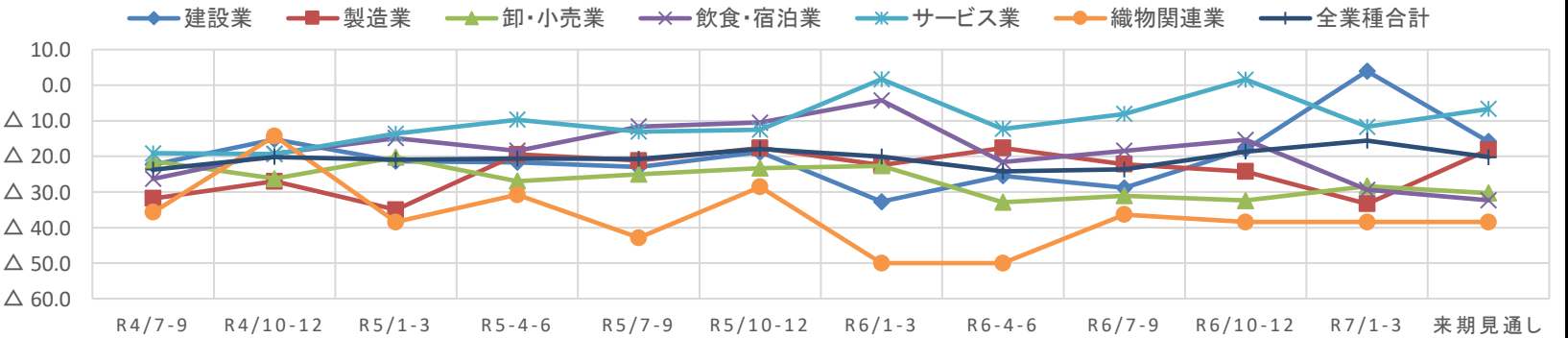
5. 資金繰りについて

- ・ 1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

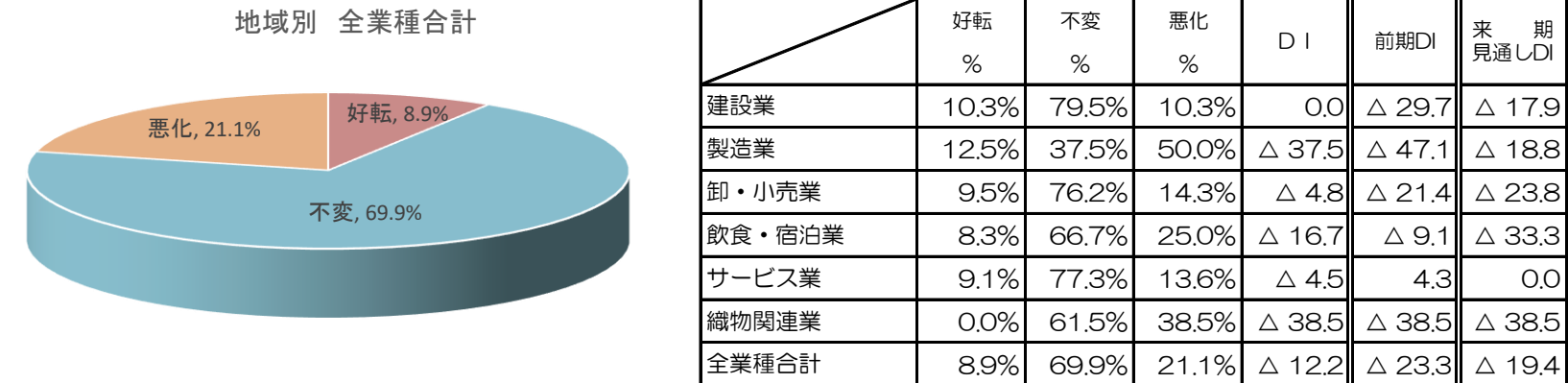


業種別資金繰りの推移(市内全体)

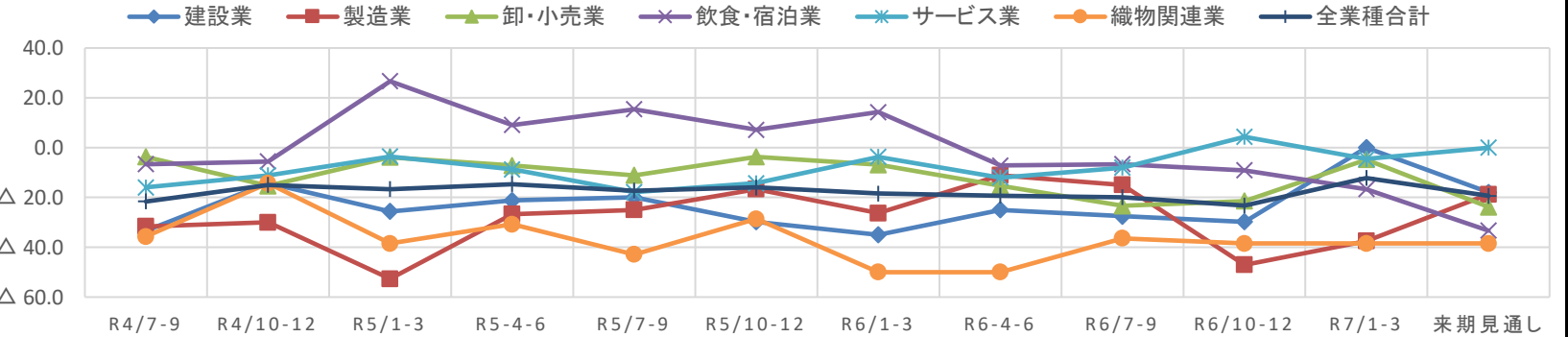


<コメント>十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△15.6ポイントで、前回調査時より3ポイント好転した。業種別に見ると、建設業、卸・小売業で好転となり、製造業、飲食・宿泊業、サービス業で悪化となった。来期は悪化の見通しで、特に建設業で大きく悪化の予測となっている。

<地区別：会議所地区>



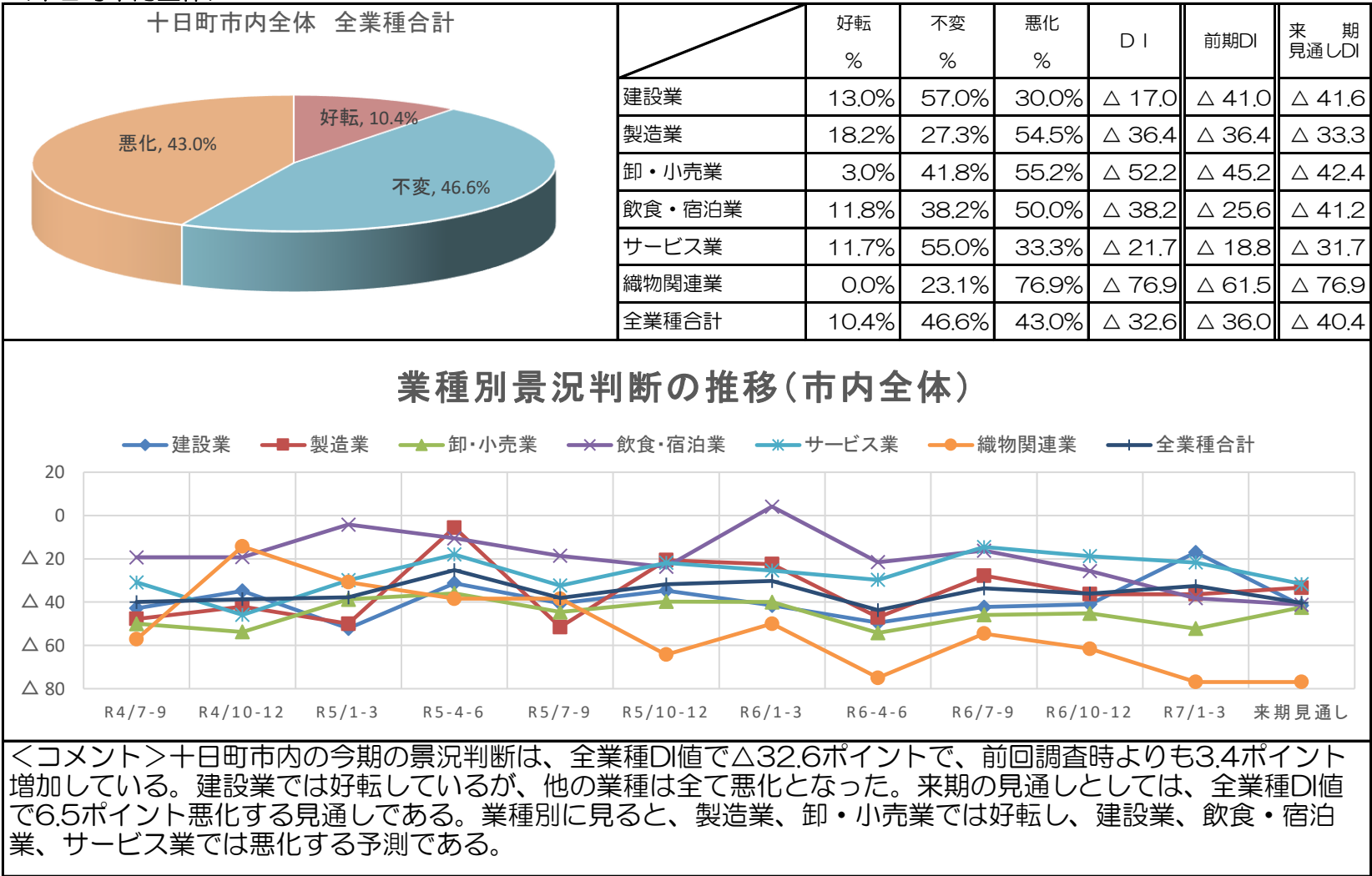
業種別資金繰りの推移(地区別)



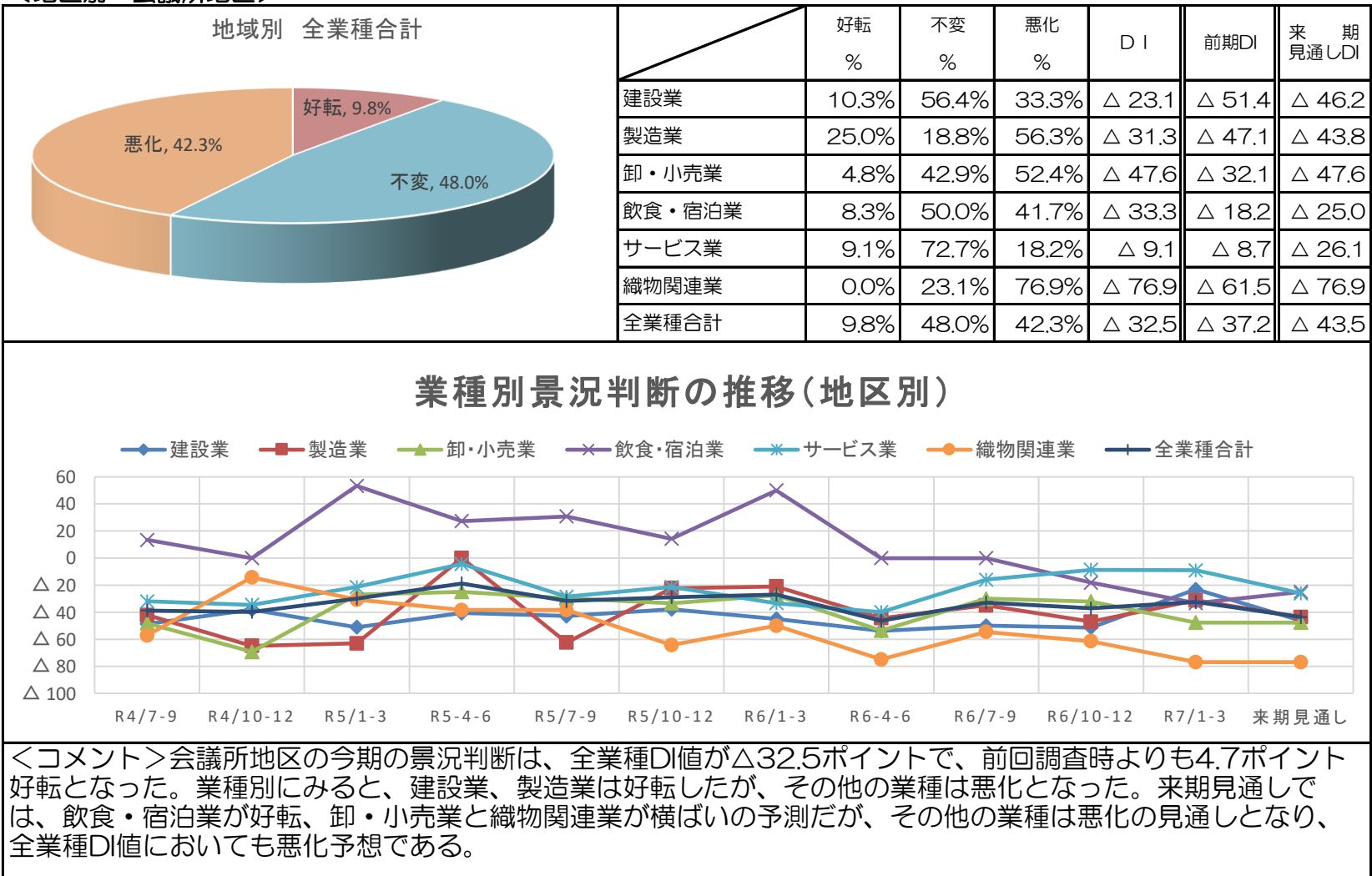
<コメント>会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△12.2ポイントで、前回調査時よりも11.1ポイント好転となった。業種別にみると、飲食・宿泊業とサービス業が悪化と織物関連業横ばいだが、その他の業種は建設業を中心に大きく好転した。来期見通しでは、製造業、サービス業が好転、織物関連業が横ばいの予測だが、その他の業種は悪化の見通しとなり、全業種DI値において悪化予想となった。

6. 景況判断について
- ・ 1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

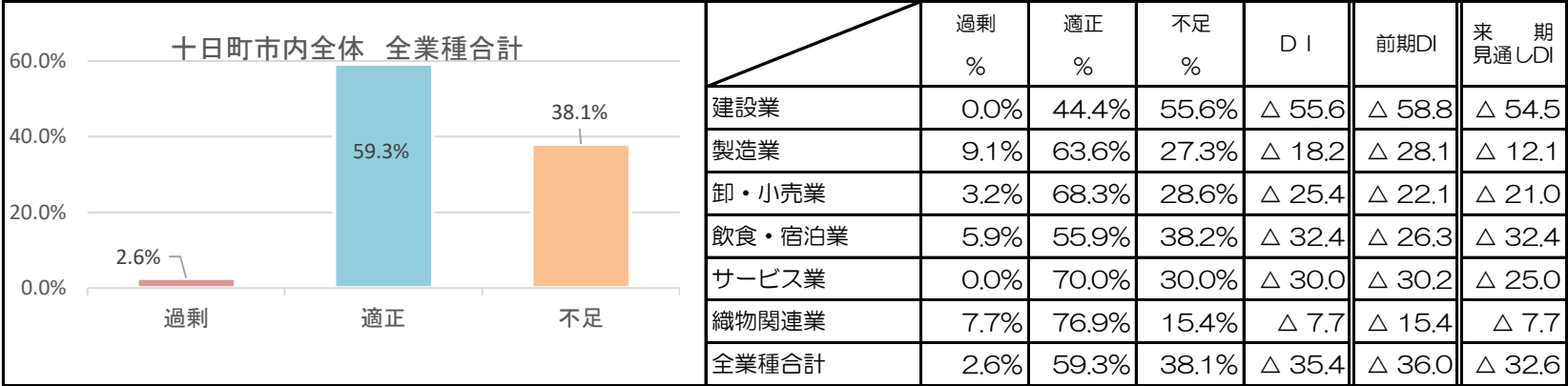


＜地区別：会議所地区＞

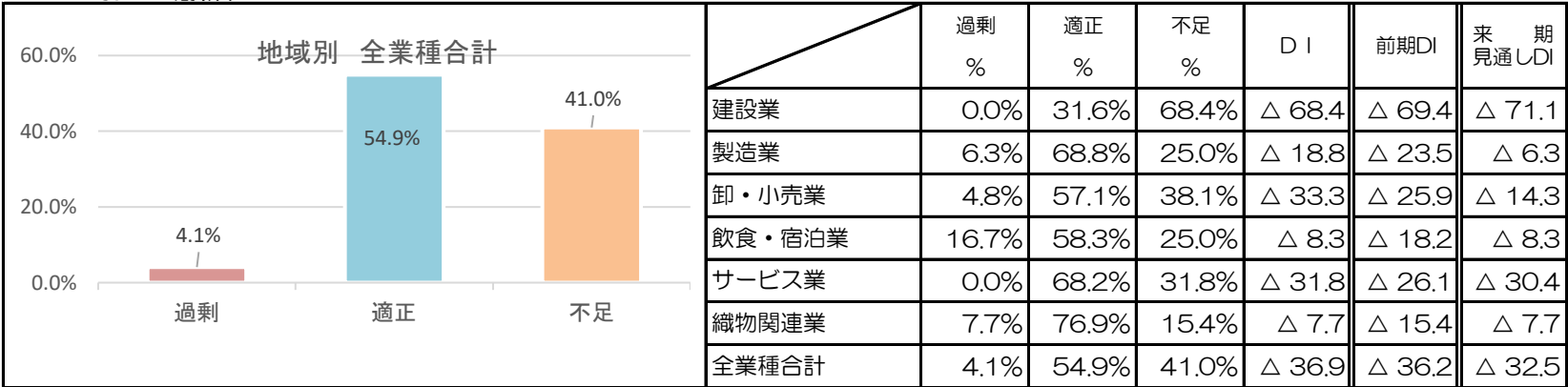


7. 従業員数について
・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

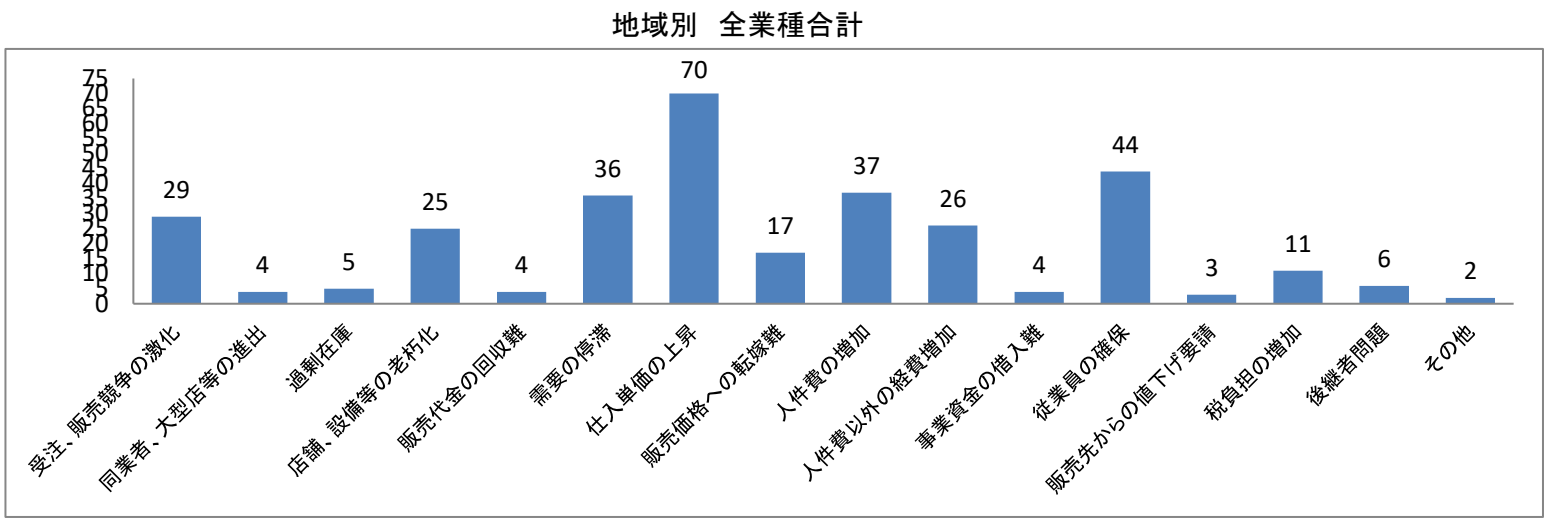
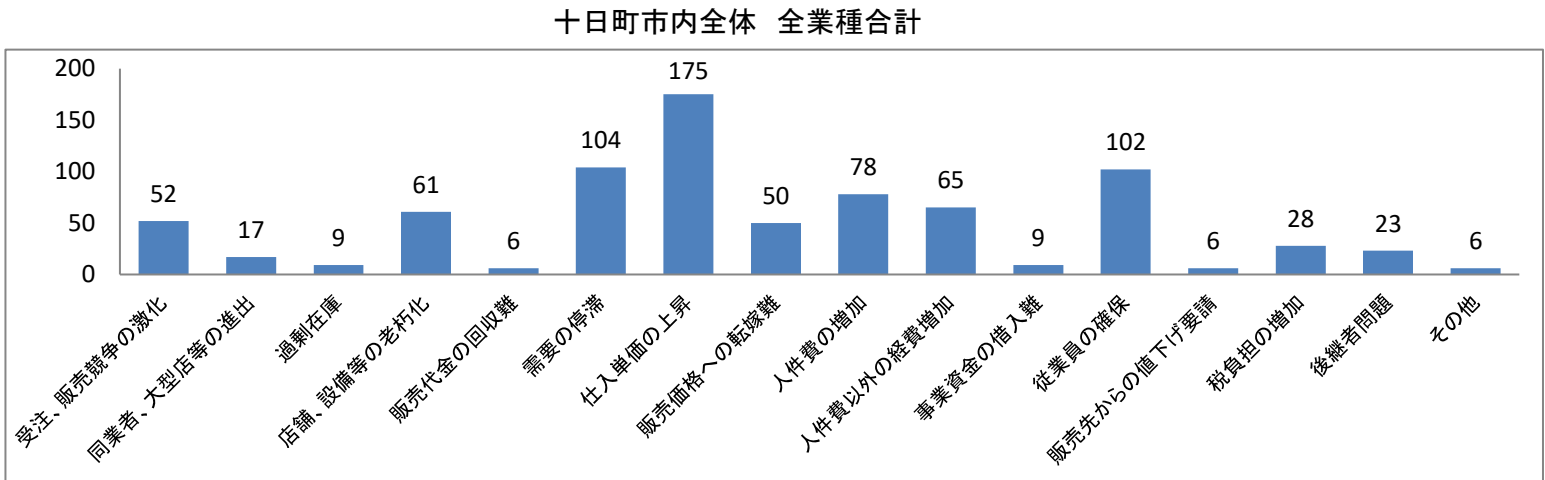


<地区別：会議所地区>



<コメント>今期の従業員数(雇用動向)は、前回調査時より過剰回答が0.3%増加、適正回答が0.2%減少、不足回答は0.2%減少している。会議所地区の従業員数(雇用動向)は、製造業、飲食・宿泊業、織物関連業で不足回答が減少したが、業種全体ではほぼ横ばいとなった。来期見通しは建設業のみ不足が増加しているが、全体としては横ばいとなった。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：1月～3月



<コメント>今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」となり、前回調査と項目、順位ともに変動はなかった。会議所地区の経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、続いて「従業員の確保」、「人件費の増加」と「需要の停滞」となり、前回とほぼ同様の結果となった。

9. 地区の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

【建設業】 売上・採算は大雪による除雪作業等のため、前期比で大きく改善したが、来期は急落見通し。景況判断も依然厳しく、先行きへの不安が強い。販売単価の上昇は見られるものの、仕入単価の高止まりが収益を圧迫。資金繰りも一時的に安定したが、今後は悪化懸念がある。人手不足(従業員数DI -68.4)は深刻で、業績回復の制約要因となっている。経営上の問題点は、「従業員の確保」「仕入単価の上昇」が多く回答されている。
【製造業】 売上・採算ともに低水準ながら前期より改善傾向。仕入単価はやや緩和し、コスト面に明るさがある。販売単価は横ばいで価格転嫁力は限定的。資金繰りも改善傾向にあり、景況感もわずかに回復。ただし、来期の不透明感は強く、人材不足も一部で続く。経営上の問題点は、「受注・販売競争の激化」「仕入単価の上昇」が多く回答されている。
【卸・小売業】 売上・採算・景況判断が悪化し、来期も下落予想。販売単価は上昇するも、仕入コスト増で利益圧迫。資金繰りは改善したが見通しは悪い。従業員不足感は緩和傾向にあり、雇用環境にはやや明るさがあるが、全体的に厳しい状況が続いている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「従業員の確保」が多く回答されている。
【飲食・宿泊業】 売上は微増しつつも、採算・資金繰りは依然厳しい。仕入コストは最も高く、販売単価上昇では吸収しきれない。景況判断は低迷し、来期も悪化が見込まれる。人手不足は他業種に比べ軽微だが、全体的な業績改善には厳しい。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「人件費の増加」が多く回答されている。
【サービス業】 売上・採算は一時的に改善したが、来期は悪化予想。仕入コストは緩和したが、販売価格は伸び悩み、利益確保が難しい。資金繰りや景況感も鈍化しており、従業員不足も根強い。先行きに慎重な見方が強まっている。経営上の問題点は、「販売価格への転嫁難」「仕入単価の上昇」が多く回答されている。
【織物関連業】 売上・採算・景況すべてが低迷し、厳しい状況が続いている。仕入単価は高止まりし、販売単価の上昇では吸収できていない。資金繰りも厳しく、雇用は安定しているが、需要低迷により苦境が続いている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「店舗、設備等の老朽化」が多く回答されている。